

令和2年度 財務管理部長「政策宣言」中間報告

財務管理部長 一松 教進

○ 令和2年度重要事業

事業名	税財源の確保等健全な財政運営
目標	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う市税等への影響の把握に努めるとともに、公平公正な賦課徴収の実施、スマホ決済の拡充など多様な納付環境の整備や滞納整理の強化により税財源の確保に努めます。</p> <p>また、中長期的な財政見通しを踏まえ、引き続き、計画的な市債の繰上償還や基金への積み立てなど、健全な財政運営に努めます。</p>
進捗状況	<p>新型コロナウイルス感染症対応に伴う市税条例の一部を改正し、税制上の措置を講じるとともに、スマホ決済の拡充による納付環境の整備に努めました。</p> <p>また、9月補正予算において、令和元年度決算上剰余金を活用し、約7億7千万円を財政調整基金へ積み立てました。</p>
今後の対応	<p>引き続き、令和3年度固定資産税にかかる減免制度の周知に努めるとともに、納税の猶予、滞納整理の強化等公平公正な賦課徴収に努めてまいります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響等により、今後とも厳しい財政運営が想定される中、将来を見据え、健全財政を維持していく取組を進めていきます。</p>

事業名	防災・減災対策の推進
目標	<p>洪水ハザードマップを活用し、水害発生時の避難行動について周知啓発を行うなど、引き続き、防災・減災意識の高揚を図ります。</p> <p>また、自主防災組織のリーダーの育成や活動支援に努めるとともに、市職員の研修や訓練の実施など、災害時における迅速な対応ができる態勢づくりに努めます。</p>
進捗状況	<p>洪水ハザードマップを活用し出前講座、ケーブルテレビ、広報紙等により市民に対して周知啓発を行い、防災・減災意識の高揚を図りました。</p> <p>市総合防災訓練においても、地域の住民と市職員が連携し、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設訓練を実施しました。</p>
今後の対応	<p>引き続き、出前講座や地域の防災訓練等の機会を捉え、防災・減災意識の高揚を図ります。</p> <p>また、自主防災組織及び防災士等の地域防災リーダーの育成に努めます。</p>

事業名	RPA及びIoTを活用した情報政策
目標	<p>行政課題の高度化、多様化が進む中、限られた人員で市民サービスを維持・向上させていくため、システムのデータ入力や更新等の定型的な業務をソフトウェア型ロボット（RPA）により自動化するなど、最新の情報技術を活用した業務の効率化に努めます。</p> <p>また、地域の安全や安心に関わる地域課題の解決や市民サービスの向上を図るため、IoTを活用した実証実験に引き続き取り組みます。</p>
進捗状況	<p>ソフトウェア型ロボットにより、福祉や税に関する10業務の自動化を開始し業務の効率化を図るとともに、対象業務の拡大に向け、新たに3業務を選定しました。</p> <p>また、台風や豪雨等による浸水への対策や、迅速な避難行動の判断を行うため、排水路やため池における水位の常時監視のほか、公共交通、公共施設の利用者数の把握等、IoTを活用した実証実験に取り組みました。</p>
今後の対応	<p>新たに選定した3業務について、ソフトウェア型ロボットによる自動化を開始し、さらなる業務の効率化を図ります。</p> <p>また、IoTについては、実証実験の効果検証を行い、効果が認められる事業について来年度の運用開始を目指すとともに、対象業務の拡大に努めます。</p>